

授業科目	現代の精神保健の課題と支援 I				単位	2		
履 修	選択	関連資格	精神保健福祉士 養教一種免		ナンバリング	WE21515J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP4-3			
担当教員	梶原 浩介							
授業概要	<p>本講義は、メンタルヘルス(精神保健)に関する現象・問題等を体系的に捉え、対応策や予防策を見出していくための学問となる。精神的な健康や精神障害などが、当事者を取り巻く生活環境と強い関連性があることから、その対応と予防においても、さまざまな要素を同時的、継時的にみていかなければならない。そのため、精神保健の概要、現代の精神保健分野の動向、基本的な考え方、ライフサイクルにおける精神保健を概観するとともに、精神保健の視点からみた家族(子育て・介護、家族関係、家庭内暴力、精神疾患、アルコール依存、ヤングケアラー、虐待・自殺等)、学校(発達障害、いじめ、不登校、非行、自殺、学校教職員のバーンアウト等)、地域(ひきこもり、職場、災害等)精神の構造と働き、精神保健活動と精神保健対策治療的アプローチ、法律などについて解説する。</p> <p>地域生活を営む上で、メンタルヘルス(精神保健)の課題がどのようなものが存在し、どのような支援が現代社会において求められているのかについて、福祉専門職の立場から講義を展開する。今後、地域で支援者として実践を展開する上で、メンタルヘルスの領域は欠くことはできない。本科目を通して、知識のみではなく、事例やグループワーク等を通して現場で求められる技法や社会資源、ネットワークの活用の在り方等について学ぶこととする。</p> <p>なお、授業の運営方法については、基本的には対面講義におこなう。社会状況・大学の方針に基づきウェブ等を使用しての講義になる場合もある。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>①現代の精神保健分野の動向と課題を理解する。</p> <p>②精神保健の基本的考え方を理解する。</p> <p>③現代社会における精神保健の諸課題の実際を生活環境ごとに理解し、精神保健福祉士の役割について理解する。</p> <p>④精神保健の保持・増進と発生予防のための支援及び専門機関や関係職種との役割と連携について理解する。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	20	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)	20		10				30	
知識・理解 (DP1-2)	20		5				25	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20		5				25	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)						5	5	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)						5	5	
態度(DP4-2)						5	5	
態度 (DP4-3)						5	5	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				

学生が到達すべき行動目標①～④のいずれの項目も十分に達成できている。		学生が到達すべき行動目標①～④のいずれの項目も一定レベルで達成できている。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	・オリエンテーション ・第1回目:精神保健の概要-精神保健とライフサイクル①-(梶原 浩介)	講義	指示した箇所の復習	各 30 分
2	・第2回目:精神保健の概要-精神保健とライフサイクル②-(梶原 浩介)	講義	指示した箇所の予習・復習	各 30 分
3	・第3回目:精神保健の概要-精神保健とライフサイクル③-(梶原 浩介)	講義	指示した箇所の予習・復習	各 30 分
4	・第4回目:現代の精神保健分野の動向と基本的考え方-精神保健の動向と三つの対象-(梶原 浩介)	講義	指示した箇所の予習・復習	各 30 分
5	・第5回目:現代の精神保健分野の動向と基本的考え方-精神の健康に関する心的態度と嗜癖-(梶原 浩介)	講義	指示した箇所の予習・復習	各 30 分
6	・第6回目:家族に関連する精神保健の課題と支援①-家族関係における暴力と精神保健-(梶原 浩介)	講義	指示した箇所の予習・復習	各 30 分
7	・第7回目:家族に関連する精神保健の課題と支援②-出産・育児をめぐる精神保健-(梶原 浩介)	講義	指示した箇所の予習・復習	各 30 分
8	・第8回目:家族に関連する精神保健の課題と支援③-介護をめぐる精神保健-(梶原 浩介)	講義	指示した箇所の予習・復習	各 30 分
9	・第9回目:家族に関連する精神保健の課題と支援④-ひきこもり・8050 問題をめぐる精神保健-(梶原 浩介)	講義	指示した箇所の予習・復習	各 30 分
10	・第10回目:家族に関連する精神保健の課題と支援⑤-家族関係をめぐる課題と支援-(梶原 浩介)	講義	指示した箇所の予習・復習	各 30 分
11	・第11回目:精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ①-不登校・ひきこもり-(梶原 浩介)	講義	指示した箇所の予習・復習	各 30 分
12	・第12回目:精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ②-いじめや校内暴力・非行、学校教職員のメンタルヘルス-(梶原 浩介)	講義	指示した箇所の予習・復習	各 30 分
13	・第13回目:精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ③-子どもの自殺・虐待、スクールソーシャルワーカーの役割-(梶原 浩介)	講義	指示した箇所の予習・復習	
14	・第14回目:精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ①-現代の労働環境における問題-(梶原 浩介)	講義	指示した箇所の予習・復習	各 30 分
15	・第15回目:精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ②-メンタルヘルスと職場復帰支援- ・まとめ(梶原 浩介)	講義	指示した箇所の予習・復習	各 30 分
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	現代の精神保健の課題と支援は、精神医学的な基礎理解を必要とする場合があるので、2年次後期開講の「精神医学と精神医療」の科目を受講しこの授業に臨む、もしくは在学中に受講をしていくことが望ましい。			
テキスト	適宜、レジュメ資料を配布します。 ※ 最新 精神保健福祉士養成講座 2「現代の精神保健の課題と支援」中央法規			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜、参考図書等を紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>現代の精神保健の課題と支援は、前期・後期に分けて開講されます。特に前期の現代の精神保健の課題と支援 I では、精神保健に関する知識やその課題に対する支援の在り方などを講義を通して勉強していきます。そのため、指定された範囲の予習と授業内容の復習を行ってください。より高度な知識が求められますので、集中して授業に望んでください。</p> <p>また講義では、理解を深めるために教員による講話のみならず、グループワークなどを実施する場合があります。理解を深めるために積極的に参加してください。</p> <p>精神保健及び福祉に関連のある社会問題に関心を持ち新聞、テレビ等のマスコミ報道から最新の情報を入手するよう努めてほしい。</p>			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	定期試験、日常の授業への取り組み、課題レポートをもって総合評価する。総合評価の比率は上記に示している。			

